

名古屋市のがん検診の内容

男 性

女 性

40～49歳

胃（エックス線）、
大腸、肺

50歳以上

胃（エックス線か
内視鏡のいずれか）、
大腸、肺、前立腺

20～39歳

子宮

40～49歳

胃（エックス線）、
大腸、肺、子宮、
乳

50歳以上

胃（エックス線か
内視鏡のいずれか）、
大腸、肺、子宮、乳

検診種類	胃がん検診		大腸がん 検診	肺がん・ 結核検診	前立腺がん 検診	子宮がん 検診	乳がん検診
	エックス線 検査	内視鏡検査					
対象者	40歳以上の 市民	50歳以上の 市民	40歳以上の 市民	40歳以上の 市民	50歳以上の 男性市民	20歳以上の 女性市民	40歳以上の 女性市民
※勤め先などでがん検診機会のない方。 ※年度内に当該年齢に達する方をみず。 ※無料クーポン券の対象者は4ページをご覧ください。	※50歳以上の方は、エックス線検査と内視鏡検査のうちひとつを受診できます。 ※内視鏡検査を受診した翌年度は、胃がん検診（エックス線検査、内視鏡検査とも）を受診できません。						
受診回数	年度に1回	2年度に1回	年度に1回			2年度に1回	
検査内容	問診 胃部エックス線検査 	問診 胃内視鏡検査 	問診 免疫便潜血検査（2日法） 	問診 胸部エックス線検査 問診の結果、必要な方には喀痰細胞診も実施 	問診 PSA検査 	問診 視診 内診 頸部細胞診 問診の結果、必要な方には体がん検診（子宮内臓細胞診）も実施 	問診 乳房エックス線検査（マンモグラフィ） 視診・触診を実施する場合があります。 
実施場所	市内の 協力医療機関 等	市内の 協力医療機関	市内の 協力医療機関 等	市内の 協力医療機関 等	市内の 協力医療機関 等	市内の 協力医療機関 等	市内の 協力医療機関 保健センター 等
自己負担金	<p>検診ごとに 500円</p> <p>※自己負担額が無料となる方は次のとおりです。該当する方は受診日当日に以下の書類を必ずご持参ください。</p> <p>1 健康保険証等、各制度の医療証、資格者証の提示が必要な方 70歳以上の方、名古屋市医療費助成制度受給者（障害者・ひとり親家庭等医療）、福祉給付金受給者、中国残留邦人等に対する支援給付受給者</p> <p>2 証明書類の取得が必要な方（詳しくは保健センターか協力医療機関まで） 生活保護世帯の方：保護受給証明書 市民税非課税世帯の方：市民税非課税確認書 ※65～69歳の方で介護保険料段階が第1から第4段階に該当する方は介護保険料納入通知書等の写しで可</p> 						

名古屋市のがん検診の申し込み方法

1

ご希望の検診にあわせて、医療機関を選びます。

医療機関の一覧は、22～24ページをご覧ください。名古屋市健診（検診）総合サイトをご覧ください。



2

医療機関へ電話して、「名古屋市の〇〇がん検診希望」と伝え、予約します。

3

予約した日時に、保険証など、住所・生年月日がわかるものを持参して受診します。

※一つの医療機関で受診できなかった検診については、他の医療機関にて受診可能です。

お問い合わせは

年中無休

朝8時～夜9時

名古屋おしえてダイヤル

052-953-7584



各保健センターの乳がん検診のご案内（令和4年7月以降開始）

保健センターで乳がん検診を実施しています。

受診を希望される場合は、電話もしくはWebから予約をしてください。

※予約制・先着順。原則として、検診実施日の2カ月前から3週間前まで予約を受け付けます。

※住所区以外の会場でも受診できます。



電話予約 0570-041758（令和4年6月以降。それ以前のお問い合わせは上記おしえてダイヤルまで）

（祝日を含む月曜日から土曜日（年末年始除く）の午前9時から午後8時

Web予約 右のQRコードを読み取ってご予約ください。



◎自覚症状がある方は検診を受けるのではなく、速やかに医療機関で診察を受けましょう。

◎検診の結果、精密検査が必要となった場合や病気が発見された場合などの検査料、治療費は医療保険扱いとなり別途料金が必要となります。

◎検診の結果は、今後の検診事業に役立てるため、名古屋市に情報提供されます。

◎精密検査が必要となった場合は、その結果について、名古屋市よりご本人及び医療機関にお問い合わせすることがありますので、ご協力をお願いします。

要精検と判定された方は精密検査を受けましょう

○精密検査や治療を受けない場合は、早期発見、早期治療のチャンスをお逃すことになりかねません。要精検と判定された方は、必ず精密検査を受診しましょう。

- がん検診では100%がんが見つかるわけではありません。がんそのものが見つけづらい場所や見つけづらいたちである可能性があるからです。
- がん検診では、がんがなくても精密検査や治療が必要と判定される場合があります。
- ごくまれですが、検査による合併症が起こる場合があります。

